

中原区区民会議課題調査部会報告

検討テーマ「安全・安心のきずなづくりに向けて」取り組み事項（案）

	<ul style="list-style-type: none"> ● 何でこの分野に取り組むのか（必要性） ● 誰（〇〇層）をどのようにしたいのか（目的） 		<ul style="list-style-type: none"> ● 何に取り組むのか ● どのように取り組むのか 		<ul style="list-style-type: none"> ● 誰に取り組むのか 		実施スケジュール				
	取り組み内容（分野）		具体的な実行方法（解決策）		実行主体 （協力依頼団体）		23年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	24年 1～3月
地域・区民・区民会議の取り組み	区民の防災意識の向上 ●防災訓練の参加者からは、日頃からの備えの必要性の声が多く寄せられた。 ●若い世代では防災に備える意識が低かった。	区民会議委員出身団体における防災意識の向上	●区民会議委員出身団体等で「ぼうさい出前講座」の開催することで、より多くの方へ防災意識を持ってもらうようにする。	区民会議 各団体							
		子育て世代における防災意識の向上 ●中原区は20～30代が7区で一番多い区である。	●地域の方が運営する子育てサロンなどで乳幼児子育て世代向けの「ぼうさい出前講座」を開催し、若い世代への防災意識の向上を図る。	各地区子育て支援推進委員会 各地区民生委員児童委員協議会							

	取り組み内容（分野）	具体的な実行方法（解決策）	実行主体 （協力依頼団体）	実施スケジュール				
				23年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	24年 1～3月
区民と行政の協働の取り組み	既存組織の連携強化 ●災害時の地域での活動の核となる避難所運営会議を円滑に運営するためには、自主防災組織、学校、PTAの連携が欠かせない。訓練参加者からも「地域での連携が難しい」という声が多く寄せられた。	●避難所運営会議の連携を図るため、自主防災組織、学校、PTAを構成員とした「防災ネットワーク連絡会議」を毎年、定期的に行うことにより避難所ごとの連携を強化する。	自主防災組織 学校 P T A 中原区役所					
	防災訓練未実施地区での訓練実施 ●訓練を実施していない地区では、多くの方が避難訓練の未体験者と想定されるため、訓練の実施を呼びかける必要がある。	●地域の自主防災組織に訓練の必要性を一層認識させ、訓練未実施地区に対して、小中学校を拠点とした訓練を計画的に実施する準備を行っていく。	自主防災組織 学校 P T A 中原区役所					
	区民の防災意識の向上	●区民の防災意識の向上を図るため、防災に関する講演会（フォーラム）等を開催する。	自主防災組織 中原区役所					
		●区民会議での議論を受けて、区民の防災意識を啓発することを目的に市民提案型事業において「防災意識向上事業」を実施する。中原区が実施する既存のイベントを活用して、イベントに参加している区民に防災への意識を高める事業を実施する。	各団体 中原区役所 区民会議					

	取り組み内容（分野）	具体的な実行方法（解決策）	実行主体 （協力依頼団体）	実施スケジュール				
				23年 1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	24年 1～3月
行政の 取り組み	若い世代に向けた防災情報の発信 ●若い世代では、防災情報が行き届いていない状況があり、防災訓練の参加者も少ないため対策を講じる必要がある。 ●若い世代では、自分の避難場所・避難所等を知らない方が多く、認知度を向上させる必要がある。	●インターネットを活用して地域で実施される防災訓練等の情報を提供することで、若い世代の訓練の参加を促していく。	中原区役所					
		●出生の届出や転入手続きの際に配布している「中原区子育て情報ガイドブック」へ防災情報の掲載することで、若い世代の防災意識の向上につなげていく。	中原区役所					
		●「防災ネットワークエリアマップ（8地区）」を、各地区内のこども文化センターや保育園などに新たに配布し、掲示を依頼することで、市民の方に防災情報を提供していく。	中原区役所					
その他	既存制度の連携強化 ●民生委員の独自活動である「災害時一人も見逃さない運動」と行政制度である「災害時要援護者避難支援制度」の連携についての課題解決策を検討する。	【今後の検討課題】						